

合い言葉 「愛共に」「夢大きく」

志比内広場

令和2年6月25日発行 東神楽町立志比内小学校・志比内公民館 第3号

『知之者不如好之者、好之者不如樂之者』

校長 原 田 康

これを知る者はこれを好む者に如かず。

これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。

よく耳にされる言葉だとは思いますが、学校が現状のようなコロナ禍とも言える影響を受けている今だからこそ改めてこの言葉の示唆を考えています。遠いむかし、孔子が弟子たちに学問に対する基本的な考え方や態度について語りかけました。「物事を理解している者は知識があるけれど、そのことを好きな人には及ばない。あることを好きな人は、それを楽しんでいる人には及ばない。」

孔子は学びについて、「知る」「好む」「楽しむ」という三段階で表現しています。「知る」とは、単なる知識の獲得を意味するのに対し、「好む」とは、積極的な意志が働く段階です。さらにその上に、「楽しむ」が置かれています。意志が働き心惹かれるのが「好む」であるのに対し、「学びたい、やってみたい」という感情のもと実践・実行され満足・充実を得るのが「楽しむ」という段階なのでしょう。

さて学校では今、3ヶ月にも及んだ臨時休校により遅滞してしまった分の学習を取り戻そうと普段よりペースを上げて授業に取り組んでいます。またコロナ感染リスクを極力抑えようと、グループでワイワイ意見を交わすような学習形態は控えたり、全校での活動は出来るだけ密を避け個人主体の活動へとシフトしています。学校も新しい様式へと変わっています。

だからこそこの孔子の言葉に思いが馳せるのです。このような現状では「知る」が学習



の終点になってしまわないかととても憂慮しています。限られた授業時数の中で、子どもたちが「わかった」となればそれでよし、と終わらせてしまうのでは本当の学びにならないと思うのです。校外学習や体験活動、実験や実習、身についた知識を元に子どもたちが楽しむ活動を何とか取り入れながら学びの質を向上させて行きたいと考えています。楽しく学ぶこそ「学習」だと思うのです。

クリーン作戦！

6月10日（水）にクリーン作戦を行いました。保護者の方にも協力していただきながら、4つのグループに分かれて、道路わきのごみを拾いました。

蒸し暑い日でしたが、子どもたちは頑張っておみを拾っていました。

ごみは例年より少なかったのですが、今後も、ポイ捨てする人が減り、来年もごみが少ないといいなと思いました。

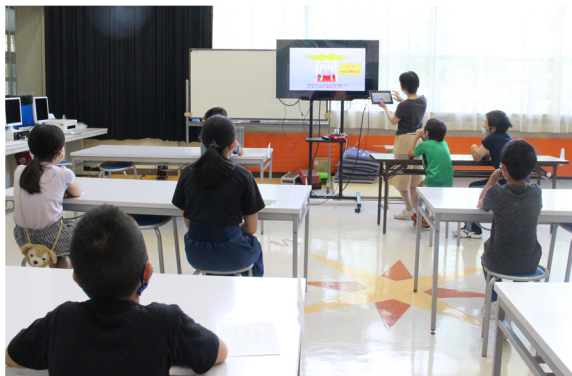


歯みがき週間！

6月15日（月）～19日（金）を歯みがき週間とし、歯の健康に関心をもたせる活動を行いました。

給食後に、毎日歯みがきを行っていますが、改めて「虫歯のこわさ」「歯みがきの重要性」「歯の磨き方」を養護教諭から説明を受け、確認しました。

また、環境・保健委員会が、歯ッピークイズラリー等も行い、楽しみながら歯の大切さを学ぶ機会となりました。



「国民の森林づくり感謝状」を頂きました。

志比内小学校が、再生段ボールのポットを使った植木やヤチダモの苗木の植樹など、森林環境教育を20年間継続して取り組んでいることを評価いただき、北海道森林管理局から感謝状をいただきました。また、子どもたち全員に、森林管理局が発行の冊子「北の森漫画」をいただきました。

志比内小学校の長年の取り組みが評価されとてもうれしく思っています。



- 7月 1日（水） 写生会
- 7月 3日（金） 参観日
- 7月 8日（水） 読み聞かせ（岡本さん）
- 7月10日（金） 遠足
- 7月17日（金） 水泳学習①
- 7月22日（金） 1学期終業式
- 7月28日（火）～31日（金） 登校日
- 7月29日（水） 水泳学習②
- 7月31日（金） 夏の集会

春の資源回収 では、1,607kg 回収でき、6,269円の収益がありました。ご協力いただきありがとうございました。

秋の資源回収 は、10月2日（金）を予定しています。